

鄭州市ダイヤモンド精密製造有限会社訪問報告

技術顧問
新井 辰夫

去る、11月16日河南省鄭州市にある、鄭州市ダイヤモンド精密製造有限会社を初めて訪問いたしました。

訪問目的は京二技術顧問としての視察と、前職のキャリア(元三菱マテリアル品証部)を活かし、品質管理について監査とアドバイスをするためです。

兪と新井の2名で訪問し、15日夜鄭州市内のホテルに宿泊、翌日朝7時から朝食を摂りながらの事前打合せ、9時鄭州ダイヤに到着、昼食を挟んで16時までの強行日程での視察と監査となりました。受診側の鄭州ダイヤからは、王品質保証部長、胡主任、田氏他関係者3名が出席されました。監査は、現場審査からスタート、インサート研磨工程、エンドミル研磨工程、検査工程、ロー付け工程、及び出荷工程等々を視察後、会議室での書類審査を実施しました。

急成長する中国市場にあって中国工具メーカーのトップレベルにある同社は、1997年創業したcBN、PCD特殊工具専門メーカーであり、2008年にISO9001を認証取得しています。切削工具は、性能の根幹を成す切れ刃には米国トップメーカーのダイヤモンド素材を採用、安定した品質を保証すると共に、豊富な材種展開で内外の自動車産業を中心に多くのユーザに供給しています。

真新しい広々とした工場内には、研磨機や放電加工機、測定器が整然と並べられ、さらに新品の日本製研磨機を11台導入、立ち上げの最中でもありました。説明によると、従業員は460名で工場敷地内に独身寮を設置しているとの事でした。確かに、対応して頂いた課長級のリーダーも若く、現場では多くの若い女性社員が活発に働いている姿が印象的でした。

品質管理体制は、課長以下22名で製造工程毎に各所に配置しておりました。品質安定の取組みは、品質手帳(品質マニュアル)を発行して、品質方針と具体的な目標を掲げて活動している様子が見られました。品質監査も2010-12-30に外部機関により実施した記録を確認しました。具体的な目標の一つ不良の低減は、各工程内の不良率を集計していることを確認しました。

書類審査では、過去のトラブル事例を基にトレサビリティを実施、図面や工程指示書への改善が適切に織り込まれている事を確認すると共に、現場で確実に実施されていることを確認しました。審査中には、一ロットの数量を適切にした制作指示書を発行、工程間の仕事量を平準化する様な改善手法も提案致しました。

審査の最後に張総経理と懇談、今回の監査訪問を大変歓迎され、定期的な品質指導を希望されており、品質安定と作業改善に意欲的でありました。

人、設備、広い工場に恵まれ、今後益々の成長が期待できる会社であることを実感した訪問となりました。

以上



工具顕微鏡で測定中の若い女性社員